

中央公民館からのお知らせ

申し込み/問い合わせ ☎385-2043
 開館時間 9:00~17:00
 // 18:00~22:00
 休館日 毎月10日・20日・30日の夜間のみ

お菓子作り講座

第4回お菓子作り講座を下記により開催いたします。参加を希望される方は公民館まで申し込みください。お待ちしております

- ・第4回目 12月12日(木)
- ・内容 クリスマスケーキ
- ・時間 ●昼の部 9:30~ ●夜の部 19:00~
- ・場所 横越町中央公民館 1階実習室
- ・講師 木伏 二子 氏
- ・募集人員 16名(定員になりしだい締切ります)
- ・参加費 1,000円(材料費等)
- ・第4回締切 12月11日(水)

※第3回目(フルーツケーキ・手軽なサンドイッチ)はまだ余裕がございます。

子どものわくわく教室

AFS交換留学生と日本のお正月を楽しもう

県内で1年間ホームステイをしながら、高校に通っている留学生たちと、餅つきや日本の伝統的な遊びと一緒に楽しみませんか
 (参加する留学生) (愛称)

- SAROWART WILASINEE (タイ) 新潟高校 ピート
- MORI TETSUSHI (マレーシア) 江南高校 テッシ
- BLAXEKJAER LAU (デンマーク) 高志高校 ラウ
- SKULTEYOVA BARBOLA (チェコ) 長岡向陵高校 バルボラ
- HELGERUD EIJAR ARNE (ノルウェー) 新津高校 アイナー

- ・日時 12月1日(日) 10:00~12:00
- ・場所 横越町中央公民館
- ・参加費 300円
- ・募集人員 100名(定員になりしだい締切ります)
- ・対象 小学生
- ・締切 11月15日(金)

11月公民館事業

- 育児教室
 期日 毎週月曜日
 時間 10:00~
- 手話講座
 期日 毎週月曜日(4日休み)
 時間 19:00~
- 大人のピアノ教室
 期日 毎週水曜日
 時間 10:00~
- 秋の文化祭
 期日 11月3日(日)~4日(月)
 時間 9:00~17:00(4日は15時まで)
- 子どものわくわく教室
 期日 11月9日(出)
 時間 9:30~
- フラワーアレンジメント教室
 昼・期日 11月19日(火)
 時間 10:30~
 夜・期日 11月21日(木)
 時間 19:30~
- いきいきセミナー(最終回)
 期日 11月20日(水)
 時間 13:30~
- 婦人大学
 期日 11月20日(水)
 時間 13:30~
- 横越探訪
 期日 11月26日(火)
 時間 13:30~
- お菓子作り講座
 期日 11月26日(火)
 時間 昼 9:30~
 夜 19:00~

第8回関屋分水西地区剣道大会

岡崎・大野が準優勝

- 9月8日 黒埼町総合体育館
 個人戦
- ・小学生高学年女子の部
 第3位 遠藤千恵(二本木) 5年生
 - ・一般女子の部
 準優勝 岡崎節子(横越)
 - ・一般男子の部
 準優勝 大野義樹(二本木)

第4回東北電力杯 新潟県少年フットサル大会東阿賀地区予選会

横越スポ少準優勝

- 10月12日 横越村総合体育館
- 準々決勝
 横越 8-4 飛龍(新津市)
- 準決勝
 横越 7-2 新津スポ少
- 決勝
 亀田 5-0 横越
- 横越と亀田が12月1日に五泉市総合体育館で開催される県大会に出場します。

亀田近郷少年野球大会

横越スポ少準優勝

- 9月15日 亀田かわねグラウンド
- 準々決勝
 横越 7-2 五泉フェニックス
- 準決勝
 横越 2-0 五泉南小
- 決勝
 亀田 7-0 横越

姉妹村

美浦村との

ホット情報交換

(その7)

Eものいっぱい

美浦村が育てた農産品②

今月の情報コーナーは、先月に引き続き美浦村の農産品について掲載します。

土の玉手箱 マッシュルーム

美浦村では、Eで始まる三つの言葉、「永続性:Environment」「環境:Environment」「誠実:Earnest」の『E美浦活動』を基本に村づくりを進めています。農業についてももちろん、これらをもっと、環境を重視しながら、消費者に誇れる農産品の生産を進めています。この中で、マッシュルームは『土の玉手箱』というブランドで奨励されています。

かも、根がついているので、長期間痛みがなく、味、香りともにいつまでも楽しめます。このようなことから、消費者の評判も高く、今では、東京市場の20%を占めています。歯ざわり、色、味、形どれをとっても癖のないマッシュルームは、肉やパスタなどの素材とも相性がよい台所の優等生です。横越のみならず、ぜひ一度、美浦のマッシュルームを召しあがってみてはいかがでしょうか。なお、美浦村には、この他の『土の玉手箱』や『森の玉手箱』のブランド名を持つ農産品もありますので、また、次号以降で機会があればご紹介したいと思います。

ふる里物語

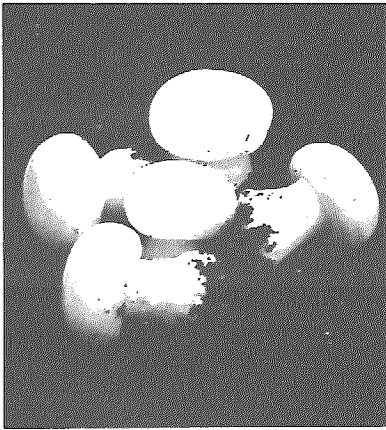
町史編さんだより

初冬の萱刈り行事

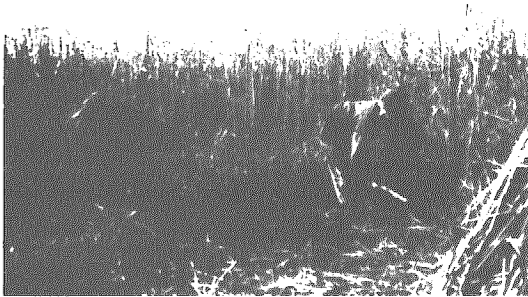
横越町の東は、かつて阿賀野川が蛇行していた各所に谷地があり、堤外地の谷地にはたくさの萱や葦が繁っていたものでした。田仕事も終わった十一月下旬から十二月初旬にかけて萱刈りが村の年中行事であり、生活の重要な財源にもなっていました。沢海では十二月の雪が降り出す頃に一軒から二人、町中で一斉に萱刈りをします。小杉では堤外地にある共有地に「川の島」と称する萱刈り場があって、十一月一日から刈り始めます。横越では十一月二十日頃になると堤外地の中島の萱場において抽

選によって場所が決まられており、谷地下駄を履き、萱刈り鎌を使って刈り取っていました。横越では、堤外地の萱刈り場まで行くのに足袋を履いてから谷地下駄をつけます。男が萱を刈り取り女がまるけ、一シメが五尺位に纏でまるけるのが一般的でした。刈り取った萱は品定めしておき、籤引で自分のものになりました。当時は萱や葦は、ヤセウマに背負って家まで運んだものであり、家の庭の一角に萱ニオを作って立てかけておきました。萱は一般的に、カマドの焚付け用に使ったが、良質なものは

背負って、葦は小船を使って運ぶなどして亀田まで売りに行きました。萱や葦は冬の雪囲い用・屋敷の内に川木コズ(流水)を囲うもの、長芋の屋根のトバ用などに使われました。ことに中がらんごになっている良質の葦は、土壁の材料として左官屋が買ってくれたものです。戦後、河川改修や土地改良事業及び農地改革による開田事業などが進み、堤外地には萱がほとんどみられなくなりました。したがって、初冬の萱刈り行事はなくなってしまっています。現在の堤外地には荒地もほとんどなく、特産の長芋畑や野菜畑に変容している光景が目に入ります。(民俗部会 斎藤 義信)



台所の優等生 美浦村のマッシュルーム



横越上、観音島での萱刈り風景(昭和28年)